

まえかわ まさし
前川 雅志 議員

町政の課題と取り組みについて

まちづくりの課題解決に向け、町民との約束（公約）とも言える、「まくべつ躍進プラン」の中に、今後4年間の姿勢が示されている。また、今定例会に提出されている補正予算は町民生活の向上と地域経済の活性化に効果が期待出来るものと高く評価する。

しかし、岡田町長が町政にかける姿勢や思いは、町民に十分伝わっていない。町民目線でまちづくりに取り組むために、町民と行政が共通の認識を持ち、共に元気出して頑張っていくという気持が大切である。町政の課題と取り組みについて、以下伺う。

- ①今後4年間のまちづくりの目標。
- ②町政の課題。
- ③一体感の醸成と均衡ある発展の重要性と課題。
合併10年へ向けての町の取り組み。
- ④定住促進に向けての取り組み。
- ⑤所得の底上げや新たな雇用。労働意欲の向上。
- ⑥コミュニティバス運行の検討。
- ⑦役場職員の職員力を高めわかりやすい行政、スリムで効率的な組織体制の整備、財政健全化のための行政改革の進め方。



おためし暮らしで利用している忠類宿泊ロッジ

町長

①いま一度、初心に立ち返り、町民の皆さんのまちづくりに寄せる思いや期待をしっかりと受けとめ、五つの基本政策を着実に推進することによって、「まくべつの躍進」を成し遂げなければならぬものと考えている。

②基幹産業である農業の体質強化を図り、子育て世代のかたの生活への不安、障がいを持った方や高齢者の方が安心して安定した生活を送っていく上での困難さなどを改善していくことが課題であり、人づくりやコンパクトで機動性の高い地方自治体制の充実に向けた取り組みを進めていきたい。

③幕別と忠類とが均衡ある発展をするには、地域の力を高め、経済を活性化し、新たな雇用が生まれ、交流人口の拡大や定住促進が図られるものであることから、地域の力を高めるため、効果的な「定住」促進策と企業誘致への手立てを組み立てて、地域経済の活性化に向け、取り組んでいきたい。

④企業誘致の推進を初め、雇用対策、住宅対策、生活交通対策など、効果的な対策を複合的に展開していくために、庁内に検討委員会を設置し、速やかな施策の実施に取り組んでいきたい。

⑤所得の底上げについては、可能な限りの経済対策を実施してきた本年度、国の「緊急雇用創出事業」を活用し、町としてできる限りの雇用対策に努めていきたい。中高校生の職場体験を実施し、このことは、職を見極めるのに大変有効であり、就労意欲の向上につながるものとして期待している。

⑥高齢者や障がいのある方の生活、交通手段の確保は大きな課題として認識している。今年度、協議会を設立し協議をしていき、コミュニティの運行のあり方、住民アンケートや利用者意向調査などを行い、一定の方向性を出していきたい。

⑦第3次幕別町行政改革大綱に沿って進めてきた。本年度、この推進計画の後期分見直し作業に取り組み、庁舎内に推進本部を立ち上げ素案策定作業を行い、町民の参画を得て開催する行政改革推進委員会で審議願うことにしている。

再質問

役場庁舎の耐震化は町政の大きな課題である。計画作りの進め方を伺う。

答 町としての基本的な考え方を委員会で説明させていただき、議会の皆さんの意見をうかがい、町民の皆さんの意見を吸い上げ、十分協議しながら対応していきたい。